

令和5年度第1回東北厚生局地域包括ケア推進意見交換会 議事概要

1 日 時

令和5年6月27日（火）午前11時から午後3時まで

2 場 所

東北厚生局16階会議室

3 会議概要

- 厚生労働省では、団塊の世代が全員75歳以上を迎える2025年に向けて、地域包括ケアシステムの構築のさらなる推進強化を図るため、令和4年度から地域づくり加速化事業を実施している。本事業では、これまでの市町村支援のノウハウを踏まえ、市町村の地域づくりに向けた支援パッケージ（地域づくり支援ハンドブック）を活用し、外部アドバイザー（有識者等）による研修（全国・ブロック別）を開催するとともに、課題を抱えている市町村等への伴走支援を実施することにより、自らPDCAの視点をもって地域づくりを進める市町村の増加を目指している。
- 令和5年度第1回目の本会では、「伴走支援」をテーマとし、東北六県の市町村支援担当者を参集して地域づくり加速化事業について共通理解を図り、効果的な伴走支援の検討及び市町村支援の現状と課題の共有を目的に意見交換を実施した。
- 前半の事例発表では、令和4年度介護予防活動普及展開事業で実施された伴走支援の実践例について、岩手県一関市職員、岩手県職員、外部アドバイザーより御報告いただき、伴走支援の流れやその成果等について共有を図った。
- 後半の意見交換では、住民の自立支援・重度化防止等に向けたチームによる効果的な伴走支援を目指して2つのワークを行った。はじめに各事業の担当者毎に分かれ市町村支援の現状と課題の整理、課題解決策の検討を行い、次に各県に分かれ令和5年度市町村への伴走支援アクションプランについて検討を行い、最後に出席者全体で共有を図った。

以 上